

特色GP活動最終報告会

「教養教育としての生活園芸」—文部科学省 平成19年度「特色ある大学教育支援プログラム(特色GP)」

「持続可能な社会の実現をめざして!」

—教養教育としての生活園芸の可能性—

2010年2月12日(金) 13:00~16:30(12:30開場)

恵泉女子大学 J202教室 (東京都多摩市)

京王線・小田急線・多摩モノレール「多摩センター駅」下車 スクールバス8分(裏面参照)

恵泉女子大学は、「持続可能な環境と社会を担う市民の育成」のために、有機園芸によるいのちを育む体験を通して、共生、循環、多様性を実感させ、これを生活の中で実践できる「生活園芸」プログラムを展開しています。

本取組は2007年度に文部科学省の特色GPに選定され、地域社会における園芸活動の支援などによる貢献、

「お弁当の日」活動による食育教育、また、海外における有機園芸教育の事例を研究するための国際シンポジウムなどの活動を行ってきました。

3年間の特色GPによる活動を終えるにあたり、その実績を振り返り、本学の園芸教育の成果と今後を考え、本報告会を企画いたしました。みなさまのご参加をお待ちしています。

[第1部] 13:00~

挨拶 木村 利人(恵泉女子大学長)

全体報告 「特色GP 3年間の成果—生活園芸の使命とは何か?」

澤登 早苗(本学人間社会学部准教授 取組担当者)



[第2部] 13:35~

報告 「生活園芸の教育力」

本学「生活園芸」履修学生

コメントーター 丹下 晴美(元今治市立城東小学校長)



[第3部] 14:40~

報告 「生活園芸をどう発展させるか—食育・食農・環境教育・地域貢献」

本学取組担当教員、地域貢献コーディネーター

コメントーター 麻田 信二(酪農学園理事長、元北海道副知事)



[第4部] 15:40~

「持続可能な社会の実現をめざして—有機園芸が世の中に投げかけるもの」

中島 紀一(茨城大学農学部長)

まとめ 藤田 智(本学人間社会学部准教授 取組担当者)

閉会

本報告会に先立ちまして11:00~12:00に恵泉女子大学教育農場見学ツアー、また、報告会終了後の17:00~18:00には懇親会を予定しておりますので、皆さまのご参加をお待ちしています。報告会とあわせ、裏面の申込書によりお申込みいただきますよう、お願いいたします。

お問合せは

恵泉女子大学

Tel:042-376-8211 Fax:042-376-8218 E-mail:shien@keisen.ac.jp



恵泉女子大学

〒206-8586 東京都多摩市南野2-10-1 <http://www.keisen.ac.jp/>

「特色GP活動最終報告会」(2月12日開催) 參加申込書

フリガナ			
お名前			
連絡先ご住所	〒 一		
所属大学・団体名			
職種	教員・職員・学生・その他()		
電話番号			
メールアドレス			
備考	ご質問などございましたらご記入ください。		
農場ツアーアンケート (11:00~12:00)	参加 · 不参加	懇親会 (17:00~18:00)	参加 · 不参加

お申込みがなくてもご参加いただけますが、会場準備の都合上、事前のご連絡をいただけますと助かります。

※ご記入いただいた個人情報については、本学園の個人情報保護指針にもとづき、適正に管理いたします。

惠泉女學園大學

Tel:042-376-8211 Fax:042-376-8218 E-mail:shien@keisen.ac.jp

惠泉女學園大學 交 通 案 內

京王相模原線(都営地下鉄新宿線乗り入れ)・小田急多摩線(東京メトロ千代田線乗り入れ)・多摩モノレール
多摩センター駅下車(東京都多摩市南野2-10-1)
京王線中央改札口、小田急線改札西口より左へ、三井住友銀行前の階段下よりスクーラルバフ8分

